学校教育目標　夢・自律・貢献

内出中だより

第6号

相模原市立内出中学校　令和８年10月２０日発行

STEP UP

「第43回伸緑祭を終えて」
～感じて動く心＝「感動」～

校長　森本　康子

「飛翔 ～To The Top～」のスローガンのもと、今年度の伸緑祭が開催されました。400人以上の生徒と教職員が一つの行事に向かって力を合わせたわけですから、とても大きな教育活動であったことは言うまでもありません。そして、考え方も捉え方も異なる一人ひとりの思いが交錯し、その感想や評価を一言で表すことなど到底できないほどの重みが、終わった今もじわじわと学校全体に広がっているように感じます。大きな花火が打ち上がった後、その余韻が心の中にいまだ残っているようなイメージ……。これが学校祭なのかもしれません。



素敵な歌を聴きたいと思えば、お金を払って大きなホールで鑑賞することもできます。スポーツ競技も、検索すれば、いつでも感動的な映像を手元で見ることができます。

しかし、深呼吸をし、ドキドキする気持ちを抑えながらステージに立つ緊張感。そして、歌い終えた後の何とも言えない気持ち。声とジャンプを合わせ、無心で縄を跳ぶことに集中した後、思わず歓声を上げるときの気持ち。いつもとは違う表情に包まれたクラスや学年の高揚感。正確な言葉にできなくても、一人ひとりに、確かに「心が動く」場面がいくつもあったことでしょう。

各クラスや学年の合唱。文化部の発表。体育部門での選手宣誓、綱引きなどの競技、生徒席での途絶えることのない応援。生徒たちの真剣な姿に、私たち教職員も涙が出るほど心を動かされました。

現代は「映える」と感じる一瞬を画像や映像に残し、思わず誰かと共有したくなるSNS時代。しかし、五感を通して「味わう」実体験は、必ず記憶に刻まれていくはずです。

さて、伸緑祭には、感動や成長といった大きな成果がある一方で、課題や反省点もあります。個人やクラス、係、教職員それぞれが振り返りの時間をもちました。



また、今年度は、学級閉鎖となったクラスが文化部門に参加できなかったことも、大変残念なことでした。前日のOTでは、全校生徒でそのことを共有し、参加できない仲間の気持ちを想像しながら当日を迎えました。さまざまな事情により、ステージやグラウンドに立つことができなかったとしても、それぞれの場所からつながってくれたすべての内出中生の存在を心に感じながら、43回目の伸緑祭は幕を閉じました。

R7度PTAより寄贈のテントを活用！

　内出中には重くて組み立てに時間がかかる昔ながらのテントしかありませんでした。準備・片付けの時間と労力を考え、昨年度の体育部門までは近隣小学校からお借りしていました。「○○小学校」と別の学校名が入っていたテントでしたが、令和7年度PTAにご協力いただき、会員の皆様からのPTA会費で「内出中」と入ったテントを購入していただきました。お陰様で、体育部門の本部席や用具置き場に活用させていただくと共に、夏場屋外での教育活動に有効に活用させていただけること、心より感謝申し上げます。

　今年度は「PTA在り方検討委員会」にご協力いただいている皆さまと学校事務局とで、PTA活動に加え、予算執行の在り方についても検討を重ねております。皆さまにお伝えできる内容が整理できる段階となりましたら、スクリレ等でお伝えしてまいります。





12月から始まる全員喫食に向けて

　新体制での給食開始に伴い、校内でも着々と準備を整えています。11月には学活で「配膳手順や給食当番の役割確認」等を行う予定です。全員が安心・安全に、かつ円滑に給食の時間を過ごせるようめざします。生徒一人ひとりがねらいを理解し、ルールやマナーを守れるよう、担当の先生たちはわかりやすい発信や手順の工夫に知恵を出し合っています。







B棟のエアコン設置工事実施中



　三年間をかけて実施予定だった、相模原市学校施設長寿命化計画に基づく内出中学校A棟の改修工事は今年度中止となりましたが、現在はB棟特別教室のエアコン設置に伴う工事が行われています。教育委員会・業者と確認をしながら、教育活動にできるだけ支障がないよう、また安全面に最大限の配慮をしながら実施しております。体育館周辺やけやき広場にフェンスを設置し、工事車両が入る場面があります。面談等で来校する保護者の皆様、夜間の体育館開放で来校する利用団体の皆様におかれましても、十分ご注意ください。

　次年度は一年目の工事が実施される予定です。教室や体育館、グラウンドなど、一部使用できない場所も出てくるため、次年度の教育活動においては実施時期や方法を一部変更することも予想されます。丁寧なお知らせに努めてまいりますので、ご理解ご協力のほど、お願いいたします。